

令和7年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

岡山県

行事名称	第72回文化財防火デーに伴う消防訓練
実施期間・日時	令和8年1月27日 10時00分～11時00分
実施場所	総社市井尻野1968番地 井山宝福寺
主催者	総社市消防本部

■実施内容

訓練の想定

数日前から乾燥注意報が発令され、火災の発生する恐れが懸念されるなか、1月27日（火）午前10時頃、総社市井尻野井山宝福寺三重塔西側山林から出火、初期消火を試みるが火勢は衰えず、延焼拡大して国指定重要文化財の三重塔及び般若院への延焼が危惧される。

訓練の内容

宝福寺住職が火災を発見し周囲へ火災を知らせ、119番通報を行う。その後三重塔に設置している放水銃の起動を行い、宝福寺住職と関係者で消防車の到着を待ち誘導する。また、火災に気付いた般若院住職は消火器により初期消火を行う。

消防隊到着後は、三重塔への延焼阻止のための防御態勢による消火活動を行い鎮火する。その後三重塔東側にて一斉放水を行う。

参加者及び役割分担

宝福寺関係者3名（火災発見、119番通報、放水銃起動、消防車両誘導）

般若院関係者1名（初期消火）

総社市消防本部（7名）安全管理

総社市消防署（27名）訓練実施、訓練補助、訓練進行、交通整理、周辺地域への広報、ドローン撮影

特に工夫した点

こども園園児たちに見学をしてもらうとともに、撮影に来ているカメラマンへ文化財の重要性を広報した。

問題点・課題

近隣住民の参加が減少しており、文化財保護を理解していただくために訓練参加（見学）を広報する必要あり。

その他

訓練風景



出火地点への放水



文化財防御放水